

令和6年度（2024年度）熊本県立芦北高等学校 第2学期始業式

校長あいさつ

令和6年（2024年）9月2日（月）草野 貴光

皆さん、おはようございます。

台風10号の影響で今日が2学期のスタートとなりました。皆さんの家の方では台風の影響はどうだったでしょうか。対策をしっかりとした上で被害がなければ、それで良しとすべきでしょう。朝から剣道部の生徒さんを中心に正門付近を掃除してくれていました。ありがとうございます。気持ちよく教をスタートさせることができます。

全国各地では長引いた大雨の影響などで被災された方々もおられます。お見舞いを申し上げますとともに一日でも早い復興をお祈りします。皆さんも4年前に豪雨災害を経験していますので、気持ちに寄り添うことができると思います。

夏休みはどう過ごしましたか。何か一つでも気付きや成長があれば良い夏休みだったと言えると思います。

一月前はパリ・オリンピックが開幕をし、現在はパリ・パラリンピックが開催されています。日本選手の活躍をニュースで聞くととても嬉しい気持ちになりました。

関心のある競技以外にも、スケートボードやクライミング、新競技のブレイキンにも興味を持つことができました。そして、若い競技者の活躍が目を引きました。スポーツで勝ち抜くには厳しい練習が必要となりますが、その厳しさに向き合うための心やモチベーションは理論や心理学に基づいたものだと感じました。それは、インタビューで「楽しむ、楽しい、楽しかった」の言葉から強く感じたことです。

皆さんにも、目標に果敢に挑戦する時、楽しむことを大切に取り組んでもらいたいと願います。

私が自分の行動で気を付けていることがあります。皆さんは、自分に当てはめて考えながら聞いてください。

1つ目に、脱いだ靴を揃えること。

高校生まではあまり意識していませんでした。ある日、同級生が体育服や実習服に着替えるときに制服を丁寧に畳んでいました。靴も揃えて脱いでいました。それを見て自分でもやってみたら気分が良く、気持ちも落ち着きました。それ以降、常に意識しています。

2つ目に、椅子から立ってその場を離れるときに机に椅子を入れること。

これは、ゆとり持って行動をするために心掛けています。入れ忘れた時は恥ずかしいと思います。

3つ目に、人の善を見ること。

善は良いところです。悪いところは目につきやすいものですが、良いところを見るとその人を信頼できるようになります。人を信頼すれば自分のことも信頼してもらえようになります。

4つ目に、何かしてもらったときに有難うございますと言うこと。

お手数をお掛けしてしまったと思い「すみません」とつい言うことかもしれませんが、「有難うございます」の方が相手側からはして良かったとの気持ちにもなりますし、言った自分も気分良くなります。

ニュースで皆さんも知っているかと思いますが、2年前、県内の高校の部活動内で先輩からの厳しい指導に耐えられずに生徒が自死をするという事案がありました。このことについての調査で5つの事柄がいじめとされ、自死につながったと報告されています。指導者と学校の体制についても見直す必要があると指摘されました。

これは、他校で起こったこと、自分達には関係のないことだと思ってしまったら、今後、私たちにもどんな大変なことが起こるか知れません。私たちも学校全体で再検討する必要があります。一緒に課題に気づき、考えていきましょう。

9月は命について考えることが求められる時期です。10月、11月は経験的に人とのめ事が起こりやすい時期です。それは自分自身への悩みから、自分と向き合えずに他者に目を向けてしまうことが原因にあります。者と自分を大切にすることを意識し、自分にも何か起こるかも知れないと頭の片隅に置いておきましょう。

3年生は、この夏に取り組んだ進路活動の成果が出て、9月中に進路が決定する人が続々と出てきます。進路が決まっていくタイミングはそれぞれですから、自分のタイミングを待ちましょう。

2学期も全員でワクワクする学校生活にしていきましょう。